

後志道舗装補修工事の概要

1. 概要

後志道の余市IC～小樽JCT間(23.3km)は、平成30年12月8日に開通しましたが、厳冬期(平成31年1月～3月)において、一部の路面に大きな凹凸が発生しました。

NEXCO東日本北海道支社では、学識経験者からなる技術検討会「北海道支社道路補修技術検討会」を設置し、調査検討しております。

これまでの検討では、道路構造や気象条件等の様々な条件が重なり、一部の下層路盤材が凍上したことにより路面が盛り上がり、路面に凹凸が生じた可能性が高く、局所的に大きな凹凸が発生したものと考えております。

今回の工事は、これを踏まえ対策工事を行うものです。

2. 舗装補修方法

舗装補修方法は、路面凹凸の主な原因である下層路盤材の補修を行います。



下層路盤補修例



舗装補修例